

社会福祉法人飯田市社会福祉協議会 令和 7 年度事業報告について

1 はじめに

飯田市社会福祉協議会は、誰もが健やかに住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域社会の構築に向けて、地域福祉事業の推進による地域共生社会の実現、セーフティネット機能を意識した介護保険事業による介護サービスの適切な提供に取り組みました。

2 事業報告

(1) 地域福祉活動部門

ア 地域福祉コーディネーターによる地域支援

市内 20 地区の地域福祉向上を目指し、各地区のまちづくり委員会、民生児童委員協議会等地域の多様な主体と連携して地域福祉課題の把握を行う中で、住民支え合いマップの取組や、見守り・支え合い活動の推進、ふれあいサロンの運営や立ち上げ支援等、課題解決に向けた住民による支え合い活動を支援しました。

地域フレイル予防活動推進事業では、住民主体で運営する通所型サービス B 事業の地区運営支援や、B 事業の運営者を養成する介護予防サポーター養成事業を実施し、自治振興センター、地域包括支援センターと連携して地域住民による介護予防活動推進を図りました。

- ・地域福祉コーディネーター 20 地区での年間延べ活動数：3,808 回（前年比 119%）
- ・有償福祉サービス年間利用回数：2,562 回（前年比 107%）
- ・ふれあいサロン設置数：130 箇所

イ ボランティアセンター機能の充実

ボランティアの総合窓口としてボランティアコーディネーターによる活動支援やボランティア養成を行いました。また、新たな福祉活動の展開を促進する福祉活動応援事業と、活動の立ち上げを支援するボランティアスタートアップ事業を実施し、ボランティア活動の活発化に向けた支援を行いました。生活困窮者への食糧支援を目的とした、フードドライブ事業では、企業連携に加え、学校や地域との連携を強化した取組を展開しました。

福祉教育推進事業では、学校と連携した出前福祉講座等の事業を推進し、学校における福祉教育活動の支援を行いました。

高校生ボランティアワークキャンプ事業は、昨年に引き続き能登半島地震の被災地に赴き、被災地で地域住民が日常の生活に戻るための支援活動や、復興に向けた地域福祉の実践を学びました。

- ・フードドライブ寄付食品数：5,945 kg（前年比 76%）
- ・出前福祉講座開催回数：108 回（前年比 94%）（小中学校 18、高校 2、専門校 1）
- ・サマーチャレンジボランティア参加生徒数：550 人（前年比 122%）

ウ 相談支援機能の充実

飯田市心配ごと相談所とまいさぼ飯田、いいだ成年後見支援センター及び日常生活自立支援事業が一体的に取り組める総合相談支援体制の展開を進めました。地域での相談支援体制の定着に向けて、民生児童委員協議会、地域福祉コーディネーター等と連携したアウトリーチ支援、出張相談会の開催による地域における困りごとの掘り起こしと個別相談対応等、積極的な地域展開を図りました。

- ・相談件数：一般心配ごと（1,677件：前年比107%）、特別心配ごと（144件：前年比116%）、法律（135件：前年比106%）、女性のための法律（47件：前年比94%）
※一般：社協職員、特別：裁判所OB、法律・女性：弁護士が相談対応

エ 結婚から子育て・子育て支援の充実

結婚相談事業では、「ながの結婚システム」の活用による、広域的な出会いの場を提供するとともに、結婚相談アドバイザーが地区結婚相談員と連携して、婚活イベントやお見合い等、地域の婚活事業を推進しました。

子育て支援事業として、育児家庭の家事負担をサポートする「産後ママサポート」事業の実施、困難を抱えるこどもがいる世帯を対象として、食の支援やSDGsの取組の促進を図る「もぐもぐサポーター」事業を実施しました。また、地域に展開する子ども食堂を支援しました。

- ・婚活イベント実施回数：24回、（参加者：男性165人・女性138人 カップル49組成立）
- ・お見合い実施回数：51回（前年比78%）カップル29組成立（前年比97%）
- ・もぐもぐサポーター事業開催数：9回（延べ支援世帯数495世帯）

（２）飯田市生活就労支援センター（まいさぼ飯田）部門

相談者の複合的課題の解決に向けて、まいさぼ飯田では、自立相談支援事業と家計相談支援事業を一体的に行い、相談者の生活の立て直しに向けた相談支援、自立促進に向けた就労相談や家計改善相談、就労定着に向けた就労支援及び家計改善を取り入れたプランの作成、貸付事業と連携した相談支援を実施しました。

また、就労意欲の向上と就労定着につなげることを目的とした、はたらく・つながる・プチバイト推進協議会のプチバイト事業やプチバイトプラス事業を活用して、地域内の様々な企業と連携した就労支援を実施し、就労に結びつけることができました。

- ・まいさぼ飯田年間相談者数：1,854人（前年比113.2%）支援プラン作成件数：95件
- ・資金貸付事業の実績：1,594,000円（教育支援5件）
- ・就労支援による就職状況：正規13件、非正規常勤9件、バイト等116件、派遣4件

（３）権利擁護事業（いいだ成年後見支援センター）部門

飯伊圏域における成年後見制度の普及啓発、相談支援体制の充実、地域における成年後見人の担い手確保、権利擁護支援のネットワークづくり等を進めました。日常生活自立支援事業に関する相談も含めた、権利擁護に関する相談窓口として専門性の高い対応に努めました。

- ・相談対応状況：新規 270 件（前年比 103%）、継続 2,752 件（前年比 124%）
- ・法人後見等受任件数：37 件（後見 27、保佐 8、補助 2）（前年比 123%）
- ・日常生活自立支援事業年間相談援助件数：6,941 件（前年比 81%）

（４）地域包括支援センター部門

新たに「まつお地域包括支援センター」を受託し、高齢者の総合相談窓口として保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士等の専門性を活かし「高齢者が安心して健やかに暮らせるまちづくり」をめざして事業を展開しました。

高齢者が地域において自立した生活を送れるための介護予防の推進では、「介護予防・日常生活支援総合事業」や「おマメで体操」などの介護予防普及活動を通じて、「自立支援」、「介護予防」、「重度化防止」に係る取組を推進しました。また、「新しい認知症観」の啓発、認知症への理解促進と、認知症予防の啓発を行いました。

- ・初回相談件数：1,189 件（前年比 99%）
- ・継続相談件数：1,339 件（前年比 101%）
- ・年間プラン作成数：5,458 件（前年比 90%）
- ・介護予防おたずね訪問実施件数：131 件（前年比 96%）

（５）介護保険部門

ア 在宅サービス事業

住み慣れた地域で生きがいや役割を持ち続けながら在宅生活を送れるよう、特に自立支援・重度化防止による取組を重視し、看取りまでの継続した支援の提供に努めました。

通所介護事業では、利用者・住民ニーズを受けて、定員増と営業日の拡大を図るとともに、入浴特化サービスの提供、延長サービスの拡充、共生型サービスの提供など、事業所ごと特徴ある事業の展開を推進しました。

居宅介護支援事業では、継続して特定事業所加算を取得して、より専門性が高く公正中立で質の高いケアマネジメントの提供を目指しました。

訪問介護事業は、個々のニーズに対応できる訪問体制を整え、在宅生活を支える支援を行いました。

- ・デイサービス年間利用率：上郷 74.9%（前年比－16%）、竜東 90.7%（前年比－4.9%）、竜東認知 89.5%（前年比＋2.3%）、北部 95.9%（前年比＋9.1%）、いいだ 88.1%（前年比＋6.1%）
- ・居宅介護プラン年間作成数：介護相談センター3,556 件（前年比 93%）
- ・ヘルパーステーション年間訪問回数：27,780 回（前年比 100.2%）

イ 施設サービス事業（特別養護老人ホーム飯田荘・遠山荘）

第2飯田荘の運営移管により、飯田荘と遠山荘の二荘体制で入所サービスの提供を行いました。持続可能な施設経営に向けて、適切な人員配置体制の構築、シフトの見直し、食費負担額の見直しを行っています。また、人材確保のため遠山荘では特定技能制度による三人の外国人労働者の導入を行いました。

業務の効率化に向けた取組として、リモート等を活用した研修の開催や、タブレットの活用、スマートフォンを活用した施設内のコールシステムの運用、見守りカメラの導入などIT化を推進しています。

地域との連携では、地元企業や地域の方から提供いただいた食品を加工し配布する「フードロス削減活動」や、地域と共同した「防災訓練」、遠山地区での「配食事業」を行いました。

- ・「飯田荘」年間利用率：本入所 94.2%（前年比－2.9%）
- ・「遠山荘」年間利用率：本入所 95.0%（前年比＋1.1%）、短期入所 16.8%（前年比＋3.2%）

（6）法人運営部門

飯田市社会福祉協議会の中期計画「飯田市社協未来ビジョン」及び「第2期経営改善計画」に基づいて、社協の本来業務である地域福祉の更なる推進と、セーフティネット機能を意識した介護保険事業の展開を進めました。

新たな拠点整備では、飯田短期大学内に、居宅介護支援事業所と地域包括支援センターを設置し、福学連携による新たな創造に踏み出しました。

また、持続可能な法人運営を目指して、生産性向上に向けた取組として、勤怠管理システムの導入、給与明細の電子化など業務の効率化に向けたICT化を推進するとともに、経営コンサルタントによる事業所指導など、法人経営を意識した取組を進めました。

令和7年度重点目標

- ・安定した収支構造づくり
- ・将来を担う職員づくり
- ・働きやすい職場づくり
- ・地域共生社会の実現に向けた地域福祉活動の展開
- ・効率的、効果的で質の高い介護保険事業の提供
- ・危機管理能力の向上
- ・DX・情報発信の推進
- ・環境への配慮
- ・新たな拠点の整備

3 決算報告

令和7年度の決算における当期活動増減差額は、社会福祉事業会計△6,650,050円（令和6年度14,544,809円）、公益事業会計11,147,381円（令和6年度15,986,690円）、合計4,497,331円（令和6年度30,530,499円）となりました。令和6年度に引き続き黒字での決算を打つことができました。

収益は介護保険収益が前年度比較で137,185千円余減少したことにより、前年度比較で118,241千円余の減少となりました。これは第2飯田荘の運営移管によるもので、支出に関しても施設運営に係る経費の減少がありました。

社会福祉事業会計

収益では組合加入率の低下により、年々会費収益が減少しています。

補助金・受託金は、市からの受託事業が補助事業へ変更となったことや指定管理料の減少などから、受託金収入は大きく減額となり、補助金収益が増額となっています。

介護保険収益は第2飯田荘の運営移管により、施設介護料収益や食費収益等が大きく減額となっています。また、土曜日営業など事業拡大を図った通所介護事業所を除く介護保険事業で前年度を下回る収益となっています。

支出では最低賃金の大幅な上昇による人件費への影響がありましたが、職員数の減少により人件費は減額となりました。

事業費は、物価高騰の影響を受け、食材等の価格高騰はあったものの、第2飯田荘の移管により、給食費、被服費、水道光熱費、施設燃料費、業務委託費の大幅な減額となりました。

手数料の増額は、遠山荘への外国人労働者導入に係る費用とシステム導入に係る費用となります。費用全体では昨年と比較して85,505千円余の減額となりました。

サービス活動外収益では、預金及び地方債の受取利息配当金収益が増額となっています。

公益事業会計

新たに飯田短期大学内に「まつお地域包括支援センター」を設置し4圏域ごとに地域包括支援センターを運営する体制となりました。地域包括支援センターに係る飯田市からの受託金、福祉会館の管理運営に係る受託金は減額となっています。また、予防プラン作成に係る介護保険収益も減額となりました。

一方、いいだ成年後見支援センターでは、後見人・保佐人等の利用料収益が報酬の見直し等により増加しています。

収益全体を前年度と比較すると714万円余の減額となりました。

支出については、まつお地域包括支援センターの新設により、賃借料が増額しました。その他の事業費については、ほぼ前年並みで推移しています。

令和7年度 飯田市社会福祉協議会 社会福祉事業会計及び公益事業会計決算〈概要〉

(単位：円)

1 社会福祉事業会計…法人運営部門（企画運営に関する事業）、地域福祉部門（ふれあい福祉センター ファミリーサポートセンター ボランティアセンター 赤い羽根共同募金事業 遠山地域支援事業 生活就労支援事業 基金運営事業）介護福祉部門（介護保険事業 在宅福祉事業 総合支援法推進に関する事業）					
勘定項目	内容	決算額	勘定項目	内容	決算額
会費収益 (0.3%)	1号会員(市内全世帯) 3,587,250円(98.7%) 2号～4号会員47,000円	3,634,250	人件費 (74.6%)	役員報酬・職員給料・職員賞与・非常勤職員給与・賞与引当金繰入・退職金・法定福利費	871,904,611
寄附金収益 (0.3%)	個人・事業所・団体等(111件)	3,105,225	事業費 (22.5%)	(前年度から増額科目) 手数料・賃借料等 (前年度から減額科目) 給食費・被服費・消耗器具備品費・水道光熱費・燃料費・業務委託費等	262,530,460
経常経費補助金収益 (6.4%)	国・県補助22,213,644円 市補助44,324,198円 共同募金配分6,822,066円	73,359,908			
受託金収益 (11.4%)	県受託金3,117,800円 市受託金128,302,765円	131,420,565			
介護保険事業収益 (76.4%)	施設・居宅・地域密着型・居宅介護支援・介護予防日常生活支援総合事業・利用者等利用料等	878,911,468	事務費 (0.6%)	福利厚生費・研修研究費・会議費・広報費・渉外費・雑費	7,122,621
その他の収益等 (5.2%)	障害福祉サービス事業等	59,331,871	その他の費用 (2.3%)	助成金・寄附金・減価償却費・国庫補助特別積立金取崩額	27,305,567
①サービス活動収益計		1,149,763,287	①サービス活動費用計		1,168,863,259
②サービス活動外収益計	積立預金利息配当金等	15,179,553	②サービス活動外費用計		0
③特別収益計	施設整備等補助金等	24,063,368	③特別費用計	固定資産売却損等	26,792,999
収益 ①②③ 合計		1,189,006,208	費用 ①②③ 計		1,195,656,258
			増減差額		
			△19,099,972		
			15,179,553		
			△2,729,631		
			△6,650,050		

2 公益事業会計…飯田市福祉会館・南信濃福祉研修センターの管理、地域包括支援センター及びいいた成年後見支援センター事業					
勘定項目	内容	決算額	勘定項目	内容	決算額
受託金収益 (74.3%)	施設受託11,328,611円 事業受託103,297,953円	114,626,564	人件費 (70.5%)	職員給料・職員賞与・非常勤職員給与・賞与引当金繰入・法定福利費	96,029,581
介護保険事業収益 (20.8%)	居宅介護支援介護料 16,926,320円 介護予防・日常生活支援総合事業14,390,310円	31,316,630	事業費 (29.1%)	(前年度から増額科目) 印刷製本費・賃借料等 (前年度から減額科目) 施設修繕費・業務委託費・手数料等	39,692,777
その他の収益 (4.9%)	経常経費補助金収益・事業収益・負担金収益	10,452,040	その他の費用 (0.4%)	事務費・減価償却費	538,876
①サービス活動収益計		156,395,234	①サービス活動費用計		136,261,234
②サービス活動外収益計	受取利息配当金収益等	894,519	②サービス活動外費用計		0
③特別収益計	施設整備等補助金等	1,485,668	③特別費用計	事業区分間繰入金費用等	11,366,806
収益 ①②③ 合計		158,775,421	費用 ①②③ 合計		147,628,040
			増減差額		
			20,134,000		
			894,519		
			△9,881,138		
			11,147,381		